

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃

電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nskk-kobeshoten.org/

口座振替 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- 礼拝出席に努めよう。
- み言葉を分かち合おう。
- 地域との交流促進。

聖語

いつも喜んでいなさい。
絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。

(1テサロニケ 5:16-18)

敬老感謝礼拝にあたり

わたしはあなたたちの老いる日まで 白髪になるまで背負って行こう。

(イザヤ書 第46章4節)

司祭 ミカエル 小南 晃

9月16日(日)、当神戸昇天教会では敬老感謝礼拝を行い、礼拝後に祝会の時を持ちます。

私どもが2005年4月に神戸昇天教会に赴任して14回目の敬老感謝礼拝となります。

当教会では75歳以上の方を敬老感謝の対象者とさせて頂いていますが、過去の月報を繰って見ますと、この14年の間に26人の兄弟姉妹がその敬老感謝の対象者になられています。教会の高齢化ということが言われていますが、しかし見方を変えれば、これは連綿とゆるぎなく信仰のリレーが続いている姿でもあるのではないのでしょうか。

信仰生活の確かさの証し

若い青年で溢れる教会は活気があって頼もしく感じます。私たちの教会もそうなることを願っています。しかし時に青年たちの考えや情熱は移ろいやすく、安定に欠くのも事実です。しかし高齢者が信仰生活を守り続ける姿は、一時の興奮からではなく、落ち着いた理解のもとに、「時」と言う試金石で試された結果の確かさを示しています。

実際、今、敬老感謝の対象とな

っておられる方の多くは、戦中戦後の大変な時代を生き抜いて来られた方々です。人生経験の上でも確かなものを示しておられることと思います。

「わたしはあなたたちの老いる日まで 白髪になるまで背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す(イザヤ46:4)」

この聖句は、神がイスラエル民族をその度々の罪にも係わらず、背負い続け、最後には必ず救われるというものですが、これは一人一人の人生にも向けられた言葉でもあります。

神は私たちを生まれてから老いる日までずっと背負い続けて下さっているということ。それは神ご自身が私たち一人一人を造られ、日々命を与えて下さっており、神は私たち造った以上、私たちの側の忘却や罪にも係わらず、尚も最後までしっかりと責任を負って下さり、そして救い出してくださいというものです。

白髪は輝く冠

以前、ある年配の方から、自分自身を振り返ると、既に主人も亡くなって、誰かの世話をするわけ

でなく、自分が居なければ困る人がいるわけでもない。またこれといって世の中の役にたっているわけでもないように思える、生きて居る価値がないのではとも思うといった話を聞いたことがあります。しかし人が生きていくことの意味や価値を、この世的に役に立っているか否かで測ること自体が、わたしたちの信仰からすれば全くの誤りなのです。

まず私たちキリスト者が思い起こすべきなのは、私たちは自分の力で生きていくのではなく、神が日々生かして下さいからだとことです。

有用か無用かではなく、生きて居ること、存在していることそのものが既に神のご意志に従ったものであり、私たちをかけたがない者として愛して下さい証拠なのです。

「白髪は輝く冠、神に従う道に見いだされる(箴言16:31)」

老いるということは、この世的には衰えまた悲哀としてとらえられがちです。しかし信仰の馳せ場という視点に立つなら本当に大切なものとは何か、神の栄光とは何かをより純粋に現して行く過程と言えます。そしてその人の人生そのもの、存在そのもので、神が私たちを造られた、だから最後まで背負い、担って下さるという証しをしているのであります。

敬老感謝の対象となられる方々に益々、主の祝福が豊かなることをお祈りしたいと思います。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後5時 夕の礼拝

水 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)